

世田谷村日記

石山修武

七月十日

昨夕はJ・グライターとビールを飲んでくつろいでしまったが、学科の諸々の事で西谷主任は大変な苦勞をしているようだ。しかし、この時期に主任が彼で良かった。氷河期に入るな建築は。何とか生き延びたい。

八月三日に#5朝山邸のたてまえを行うのを決める。あの太径の荒馬みたいな木を組み上げるのは見物だろう。十五時半研究室に十勝の後藤さん来室。十勝プロジェクトの展開について話し合う。二〇時世田谷村。二件打ち合わせ。

七月十一日

朝院レクチャー。メディアアーキテクチャーとキャピタリズム、その疑似神話性について。整理して話せる迄にはなっていないが面白い事に気付いている様な気がしている。サインボード・アーキテクチャーは情報資本主義のデカダンスのシグナルで、それは宗教的建築の、特にゴシック建築のスタイルの生成と酷似しているという観方である。新宿駅西口地下のサイン・ボード類が驚く位に明度、輝度を増している現象と原宿スタイルの建築の問題点は同じである。

十四時過ぎ東武緑地建設来室。聖徳寺墓地工事に關して打合わせ。十五時半修了。宮崎の藤野さんと電話で話す。現代っ子ミュージアムの壁が前の二度の台風で少しやられた様だ。対処を考え

なくてはならない。ベシーの菅原と電話で話す。坂田明の音楽が良くなったそうだ。人間少し弱ると良いモノが出るらしい。救いだなコレワ。

N棟ミーティング、猪苗代、利根、プノンペン。少しづつでも前に進みたい。二〇時半世田谷、少々の打合わせ。柴原から#3藤井邸の写真を見せてもらう。世田谷村市場の照明クリップがキレイに取り付いていた。和室も良く出来ている。ハンマは喜んでくれているだろうか。小さなモノでも手を抜かずやっていれば、小さな喜びは得られるものだ。クリップはバリエイションを展開させてみよう。